C R O S S × B I O × S T R A T E G Y

クロスバイオ技術士事務所

戦略的産学連携・技術経営・新規事業探索の専門家

アカデミアの知を、企業の戦略に。

バイオ × 非バイオの掛け算が、次の成長をひらく。

G R E E T I N G S

技術士（生物工学部門）

AIPE 認定 知的財産アナリスト

Ph.D. 工学

代 表

三宅 正人

MIYAKE, Masato

令和 8 年 4 月 設立

April 2026

01 ISSUE

貴社の研究投資は、
本当に「事業」につながっていますか？

多くの企業が、産学連携や新規 R&D の現場でこう語ります。

01
“

期待した成果が出なかった

02
“

研究者が何を考えているのかわからない

03
“

共同研究が事業化につながらない

04
“

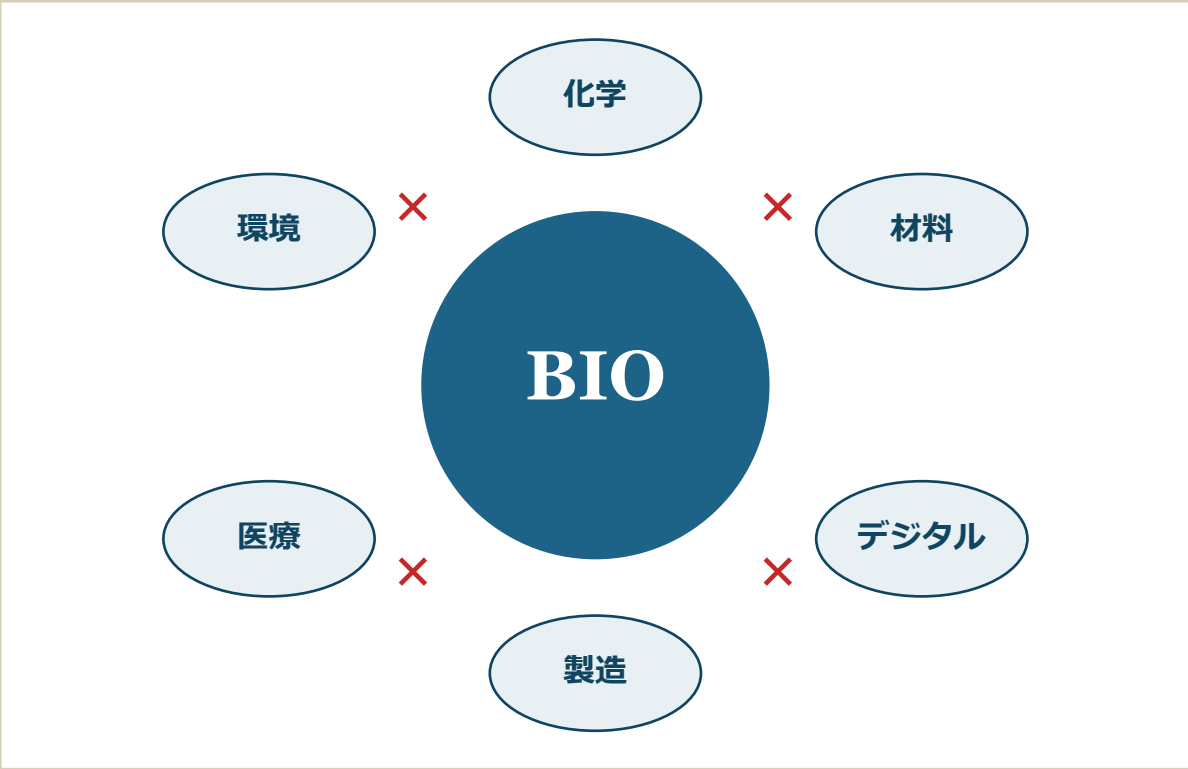
成果を評価できず、次のステップに進めない

失敗の本質は、大学側ではなく

企業が“問い”を持たずに大学へ向かってしまうことにあります。

“クロスバイオ”とは何か

バイオは単独で完結しない。掛け算で、本質的な価値を発揮する。



技術界の“名わき役”

バイオ技術そのものを目的にするのではなく、
化学・材料・デジタル・製造などの
非バイオ領域と掛け合わせることで、
企業に新たな強みを創造する
思考法・実践プロセスです。

バイオ技術を必要とする企業は、

バイオの専門家がいない領域にこそ潜んでいます。

研究と事業の境界に、36年以上立ち続けてきた人間が、伴走します。

代 表

三宅 正人

MIYAKE, Masato, Ph.D.

- 博士（工学）
- 技術士（生物工学部門）
- AIPE認定 知的財産アナリスト
- 第Ⅰ種放射線取扱主任者
- 一般社団法人首都圏産業化活性化協会
  産学官連携プロデューサー

経歴のハイライト

1990 通商産業省 工業技術院 入省
光合成×環境エネルギーの国家プロジェクトに従事

1999 米スクリプス研究所（HFSP長期フェロー）
細胞内分子相互作用の可視化技術を開発、基本特許取得

2001 産業技術総合研究所 研究チームリーダー
ヒト細胞分化制御の企業共同研究を推進

2004 創薬支援バイオベンチャーを創業（取締役CSO）
研究→事業化→産学連携の全工程を実地で経験

2020 AMED 医療機器研究開発課長として
コロナ対策医療機器の研究開発をマネジメント

2026 産総研を退職、クロスバイオ技術士事務所として独立
制度の枠を越えた支援へ

なぜ、クロスバイオ技術士事務所なのか

類似のサービスとは、立ち位置が異なります。

01

“翻訳者”としての深度

研究者・経営者・事業責任者、すべての立場を実務で経験。

基礎研究36年以上に加え、ベンチャー創業（取締役CSO）、AMED事業マネジメント、産学連携コンソーシアム設計まで。アカデミアと産業界の言語差を、体感として理解しています。

02

“中立”という立場

特定技術・企業・製品の代理や販売は一切行いません。

常に中立的な立場から、貴社にとって最適な選択肢を共に考えます。特定の連携先や手法を推奨・仲介する立場ではなく、経営判断そのものの質を高めます。

03

“意思決定”への直接関与

レポート納品ではなく、経営者・事業責任者の判断に伴走。

「何をやるか」を決める前に、「何をやらないか」「どこに賭けるべきか」を見極める。誤った意思決定を避けるための投資として、月額定額でご利用いただけます。

ご支援にあたっての“三つの心得”

お客様と向き合う際に、必ず守ると誓っている原則です。

一、

否定しない

Do not deny

経営者やご担当者の考え、研究者の着眼点、事業の前提ーー。まず受け止めることから始めます。否定は思考を止め、可能性を閉じるからです。

一、

迷わせない

Do not confuse

選択肢を増やすだけでは、意思決定は進みません。判断軸を明確にし、論点を整理し、最後の決断は御社にお任せできる状態をつくります。

一、

価値を高める

Elevate value

一つの会話、一つの打ち合わせが終わるたびに、事業・技術・思考のいずれかの価値が高まっていること。それが私の存在理由です。

令和 8 年 4 月 1 日　クロスバイオ技術士事務所 代表　三宅 正人

提供する5つのサービス

助言・コーチング・メンタリングを通じて、企業の未来づくりに貢献します。

01 共創共栄型 産学連携のデザインと推進支援

連携パートナー探索ではなく、戦略的ゴールの設計から。企業には事業化につながる問いを、アカデミアには研究価値のある問いを設計します。

02 技術経営支援（IPランドスケープ活用）

知的財産アナリストとして、技術・知見・人材・ネットワークといった簿外無形資産を俯瞰的に整理・可視化。企業価値向上につながる技術開発戦略を立案します。

03 オープンイノベーション戦略支援

市場構造分析、サプライチェーン分析、クロスSWOT分析で成長市場への不足資源を可視化。産学連携／大学発ベンチャーM&A等、獲得手段を中立的に整理します。

04 研究開発の伴走支援

バイオ分野の研究は考え方や成果が見えにくい。研究計画の立案・評価、研究テーマや方向性への助言で、経営と接続された研究開発を支援します。

05 スタートアップ支援(シーズアウト型)

研究シーズを起点とした新規事業創出を、構想段階・事業化初期まで支援。代表者体制（研究者がCEOを務めるべきか等）のご相談にも応じます。

ご留意ください

本事務所は、設計・試験・評価等の業務の受託、特定技術・製品の販売、実務代行は行いません。技術経営的知見に基づく助言・構想支援・意思決定支援が主たる役割です。

一般的なコンサルティングとの違い

“成果物を買う”のではなく、“意思決定を磨く”ための伴走です。

	一般的なコンサルティング	クロスバイオ技術士事務所
主な提供価値	分析レポート・成果物の納品	**意思決定そのものへの直接関与**
関与の仕方	プロジェクト実行の代行・管理	**経営者・事業責任者への伴走**
コストの位置づけ	成果物を買うための費用	**誤った意思決定を避けるための投資**
契約形態	プロジェクト単位・成果物ベース	**年単位・月額定額（サブスクリプション型）**
専門性の中核	業界分析・戦略フレームワーク	**研究・技術・アカデミアの深い理解**

「何をやるか」を決める前に、「何をやらないか」「どこに賭けるべきか」を見極める。

こんな課題をお持ちの企業へ

FIT　適しています

- ✓ 研究・技術をどう事業につなげるべきか悩んでいる
- ✓ 産学連携に取り組んだが、うまく進まなかった経験がある
- ✓ 新規事業を検討しているが、判断材料が不足している
- ✓ バイオや先端技術を、自社戦略にどう組み込むか分からない
- ✓ 自社にバイオ技術の専門人材がいない
- ✓ 研究テーマや産学連携がまだ固まっていない（構想段階）

NOT FIT　適しません

- × 作業や実務の外注を求めている
- × 短期的な成果物の納品のみを期待している
- × 特定の連携先の紹介・仲介のみを希望している

ご自身の状況がどちらか判断に迷う場合は、
初回相談（無料）で一緒に整理いたします。

10 FRAMEWORK

“問い”から始める、価値の翻訳フレーム

技術探しではなく、未来から逆算する。これが成果の出る産学連携の鉄則です。

1	2	3	4	5	6	7
未来	市場	顧客価値	学術	技術	製品	事業
どんな社会が訪れるか	何が市場になるか	誰の何を解決するか	構成因子は何か	到達可能性はどこか	仕様にどう落とすか	知財と市場で勝つ

失敗パターン

技術から入る

「面白そうな研究室を見つけた」「使える技術はないか」から始まる共同研究は、事業部が求めていない成果に終わります。

成功パターン

問いから入る

事業の問いを学術の問いに翻訳し、技術到達可能性を確かめる。研究成果は「価値実現の部品」として再定義され、事業につながります。

契約の考え方

継続的な伴走が、結果として最も質の高い意思決定につながります。

基本契約形態

年単位契約 × 月額定額制

— サブスクリプション型 —

企業の課題は、時間の経過や環境の変化に応じて姿を変えます。
その都度スポット相談するよりも、一定期間、継続的に思考と判断を伴走支援する方が、
結果として効率的で質の高い意思決定につながると考えています。

初回相談

無料。課題・構想・意思決定状況を伺った上で、支援内容と関与の深さをご提案します。

固定プランなし

あらかじめ固定プランは設けず、貴社の状況に応じて設計します。

中立・非独占

発明や知的財産の権利を当事務所が主張することはありません。

MESSAGE

代表メッセージ

“

変化の激しい時代において、企業がコストを抑えつつ持続的な成長を遂げるためには、
「学術」の価値を「経営」の価値に変えるための
翻訳者＝バウンダリースパナー
が必要です。



その役割を担うべく、私はアカデミアと産業界の橋渡しに
これからも尽力してまいります。

クロスバイオ技術士事務所 代表
三宅 正人 （Ph.D. 工学）

CONTACT

まずは、初回相談（無料）で
現在のお悩みをお聞かせください。

貴社の事業の未来戦略に、新しい道をひらくお手伝いができると信じております。

01 初回相談

無料にて、課題・構想・意思決定の状況を伺います。

02 ご提案

支援内容・関与の深さ・契約形態をご提案します。

03 伴走開始

年単位・月額定額で継続的に支援いたします。

お問い合わせ

クロスバイオ技術士事務所

代表 三宅 正人 （Ph.D. 工学 ／ 技術士 生物工学部門）

ホームページよりご連絡ください

※ 特定の技術・企業・製品の代理や販売は行いません。常に中立的な立場からご支援いたします。